



2022年11月8日

各 位

会社名 日新製糖株式会社
代表者名 代表取締役社長 大久保 亮
(コード番号 2117 東証プライム市場)
問合せ先 専務執行役員 飯塚 裕之
(TEL. 03-3668-1246)

剰余金の配当（中間配当）および年間配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）額を決定いたしました。また、2022年8月5日に公表いたしました2023年3月期の年間配当予想について修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年8月5日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり 配当金	33円00銭	34円00銭	33円00銭
配当金総額	729,417,249円	—	729,160,410円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 年間配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年8月5日公表)	34円00銭	33円00銭	67円00銭
今回修正予想	—	33円00銭	66円00銭
当期実績	33円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	33円00銭	34円00銭	67円00銭

※配当予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当は様々な要因により異なる可能性があります。また、2023年1月1日に予定している当社と伊藤忠製糖株式会社との経営統合による影響は織り込んでおりません。

3. 中間配当額決定および年間配当予想修正の理由

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行い、このうち、第2四半期決算公表時における1株当たり年間配当予想額の50%（1円未満切上げ）を1株当たり中間配当額としております。

本日、2023年3月期第2四半期決算短信において公表いたしましたとおり、2023年3月期通期連結業績予想を見直した結果、親会社の所有者に帰属する予想当期利益が減少したことに伴い、年間配当予想額につきましては、前回予想の67円から1円減額の1株当たり66円といたします。

これにより、中間配当につきましては、1株当たり年間配当予想額66円の50%（1円未満切上げ）の33円を1株当たり中間配当額といたします。

（当社は、毎年9月30日を基準日として、取締役会の決議によって、会社法第454条第5項に定める中間配当をすることができる旨を定款に定めております。）

[1株当たり年間配当予想額の算定式]

連結配当性向（DPR）60%基準

期末基本的1株当たり予想連結当期利益31.67円の60%=20円（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%基準

期末1株当たり予想親会社所有者帰属持分2,179.30円の3%=66円（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%基準66円の方が大きいため、66円を1株当たり年間配当予想額といたします。

以 上